

2019(令和元)年度栄小避難所運営協議会活動予定(案)

栄小学校通学区市民を対象とした西東京市の指定団体です。

大型直下型地震建物倒壊死者1万1千人以上

火災死者1万6千人以上が予測されています！

震度5強以上の地震発生時に栄小体育館が避難所になります。

いつ発生しても不思議でない大型地震への備えをしましょう！

今年は 次の2項目を体験して 家族の安全に備えましょう！

関心のある方々の参画をお願いします。

栄小に集まれ！

6月18日(火)15時半～”避難所開設手順”の体験

初動要員との顔合わせ ⇒

校門・校舎・体育館・防災資材倉庫の開錠 ⇒

体育館の損害使用可能度 電気水道チェック⇒

防災資材倉庫からの資材等搬出 ⇒

防災無線使用・特設公衆電話設置 ⇒

体育館でのセット(机椅子配置・掲示物設置・

ブルーシート・避難者カード記入)

後日 これらの項目を作業手順として まとめて
文書化(カード化・情報の共有)をします。



10月19日(土)学校公開日に防災資材倉庫を公開



栄小学校体育館での避難者の
収容限度数は1,098人です。

(保一小・青嵐中の北部3校を
合計しても3,880人です。)

“備蓄倉庫”は食糧備蓄のみが
主目的ではありませんので、各
家庭独自で必要物資を確保し
ないと万全ではありません。
ご家庭での備蓄に必要な内容・
ボリューム等々の情報・知識を
提供し合って勉強しましょう。

↑(各家庭で準備しておいてほしいモノ等)